

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	インターンシップアシスト事業
事業主体 (連絡先)	回帰促進協議会 0265-22-4511 (内線3514)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,230,903 円 (うち支援金: 2,577,000 円)

#### 事業内容

- ・インターンシップ受入れプログラムの作成支援  
「働くってこんなこと」「社会人名鑑」等、地元で働く社会人と学生の交流を通じて、職業観の醸成や地方で暮らすことに関する学生の関心を向上させる  
2020年6月～12月  
イベント実施回数10回 参加者延べ33人
- ・インターンシップの学生受入に係る支援 (オンラインカフェ)  
ウェブ会議を活用し、学生と企業の継続的な関係構築を図る  
実施企業2社 2020年5月～2021年3月
- ・南信州インターンシップ情報 (チラシ) の作成  
飯田下伊那の企業のインターンシップ情報を収集し一体的に発信することにより学生の参加促進を図る  
24社のインターンシップ情報を掲載



【オンラインカフェの様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① オンラインインターンシップにより学生と企業の継続的な関係構築を支援する
- ② インターンシップ受入れプログラムの作成に学生目線で支援する。
- ③ 地元企業のインターンシップメニューを一体的に情報発信する

#### 事業効果

- ① オンラインインターンシップを2社で実施し、学生と企業の長期的な関係構築につながった。オンラインによる事業設計は、コロナ禍においてより有用性が高まることにつながった
- ② 各事業の企画・運営に学生アクセラレーターが関わり、学生目線の支援を行い事業効果を高めるにあたり大きく貢献した。
- ③ 地元企業約250社に調査を実施しインターンシップ受入情報を収集し、南信州の企業情報として一体的に学生に情報発信することができた。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

- ・オンラインミーティングツールを活用したインターンシップを実施し、学生と企業の継続的な関係づくりのモデル的な事業が実施できた
- ・企業のプログラム作成支援に直接かかわるケースが、当初予定していたよりも少なかった。

#### 今後の取り組み

今年度実施したオンラインインターンシップは、コロナ禍において学生と企業の継続的な関係構築ができるモデル的な事業といえる。  
学生の就職活動におけるインターンシップの重要性は増しており、今年度の取組を他の企業に横展開して、地域全体のインターンシップ受入れ活動を活発化していきたい。